

意見書第3号

日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書

上記の議案を、地方自治法（昭和22年法律第67号）第99条の規定に基づき別紙のとおり議決を求める。

平成30年6月11日提出

提出者

香芝市議会議員

筒井 寛

賛成者

香芝市議会議員

北川 重信

細井 宏純

中村 良路

福岡 憲宏

芦高 清友

## 日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書

2017年7月7日、国際連合において、核兵器の全面廃止と根絶を目的とした「核兵器禁止条約」が、122の国と地域の賛成により採択された。

この条約は、核兵器の、開発・実験・製造・備蓄・移譲・使用、および威嚇としての使用などの、全ての活動を禁止するものであり、正に、完全に核のない世界をめざすものとして採択された。現在、50カ国以上が署名している。

しかしながら、世界で唯一の被爆国である日本は、現在、署名・批准はしていない。広島・長崎での原爆による悲惨な体験を世界に知らせ、その経験から、全世界からの完全な核兵器廃絶の先頭に立つべき日本の決意が強く求められるはずである。

よって、国においては、下記の措置を講ずるよう強く求める。

### 記

- 1 政府は速やかに核兵器禁止条約に署名すること。
- 2 衆議院、参議院両院において、核兵器禁止条約を批准すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年6月22日

衆議院議長	大島 理 森 殿
参議院議長	伊 達 忠 一 殿
内閣総理大臣	安 倍 晋 三 殿
外 務 大 臣	河 野 太 郎 殿
防 衛 大 臣	小 野 寺 五 典 殿
内閣官房長官	菅 義 偉 殿

奈良県香芝市議会